

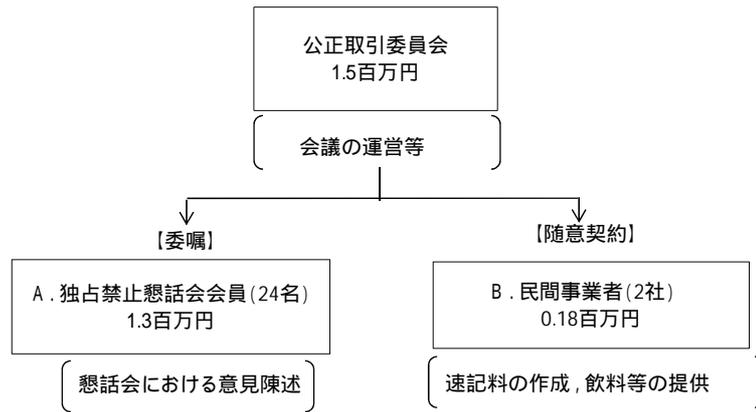
事業番号

平成24年行政事業レビューシート

(公正取引委員会)

事業名	独占禁止懇話会		担当部局	経済取引局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	昭和44年度～		担当課室	経済取引局総務課		東出 浩一		
会計区分	一般会計		施策名	競争政策の広報・広聴等				
根拠法令 (具体的な条項も記載)			関係する計画、通知等					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	公正取引委員会が各界の有識者から意見を聴取するとともに、意見交換を行うことを通じて、経済社会の変化に即応した競争政策の有効かつ適切な推進を図り、併せて競争政策に対する国民的理解の増進を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	公正取引委員会が、懇話会を開催し、その取組や競争政策の在り方等について、広く各界(学界, 言論界, 消費者団体, 産業界, 中小企業団体等)の有識者と意見交換を行うもの。							
実施方法	直接実施	委託・請負	補助	負担	交付	貸付	その他	
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
		当初予算	2	2	2	2		
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
	計	2	2	2	2			
	執行額	1	1	1				
執行率(%)	82	40	93					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	本事業の目的は上記のとおりであり、これらに関して定量的な目標を示すことは困難である。			達成度	%			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	独占禁止懇話会の開催回数			回	4	2 (3)	4 (4)	(3)
単位当たりコスト	374,974円(円/懇話会1回)		算出根拠	独占禁止懇話会開催に係る経費(1,499,894円)/開催回数(4回)				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	1.0						
	委員等旅費	0.3						
	庁費	0.3						
	計	1.6						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	我が国経済社会の変化に即応した競争政策を有効かつ適切に実施していくためには、定期的に各界の代表者、有識者等と意見交換を行うことが重要である。有識者からの意見聴取は、競争政策を実施する公正取引委員会(国)が直接行う必要がある。
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支出は、会員への旅費、意見陳述の謝金、速記録作成、飲料の提供のみであり、必要最小限の支出に限定している。旅費及び謝金は規則・統一単価に基づいて支出しており、速記録作成及び飲料の支出先業者の選定に当たっては、相見積りを原則とし、高額な見積りを提示した業者を次回の見積りの際に入れ替えることにより競争性の確保とコストの削減を図っている。
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	各界の代表者、有識者等と一堂に会した場で意見交換を行うことにより、効率的かつ効果的に意見を聴取できるほか、各界有識者間の議論も行われるため、より深みのある意見を聴取できる。また、このような意見交換の場を設けることにより、各界有識者の競争政策に対する理解が深まっているものと考えられる。類似の事業として「独占禁止政策に関する地方有識者との懇談会」(官房が所管)が実施されているが、これは各地方ごとに開催するものであり、各地の有識者からの競争政策に関する意見・要望を把握するものであり、全国的な見地から意見を聴取する独占禁止懇談会との役割分担は適切である。独占禁止懇談会の場において有識者から意見を聴取した結果、「取引一般において優越的地位の濫用などの不公正な取引方法の迅速かつ効果的な取締りや、下請代金支払遅延等防止法などの厳正な運用をお願いしたい。」「企業結合計画に関する事前相談制度の廃止後は、より限られた時間の中で審査を行う必要があるため、企業結合審査の体制強化が求められる。」「実態調査報告書における提言については、具体的な目安やベストプラクティスのようなものを示す方がより事態の改善に資するのではないか。」等の意見が出され、その後の公正取引委員会の運営に生かすことができた。また、独占禁止懇談会の議事録等の成果物は公正取引委員会のホームページ上で公表しており、これら成果物へのアクセス件数は、一月当たり213件に上っている。
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
		類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		類似事業名とその所管部局・府省名 独占禁止政策に関する地方有識者との懇談会(官房)	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		
点検結果	公正取引委員会が、広く各界の有識者と意見交換を行うための会議であり、経済社会の変化に即応して競争政策を有効かつ適切に推進するために必要であることから、独占禁止懇談会を引き続き開催する必要がある。		
予算監視・効率化チームの所見			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	(4)	平成23年行政事業レビュー	



資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位: 百万円)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	独占禁止懇話会への出席	0.14		
2	個人B	独占禁止懇話会への出席	0.08		
3	個人C	独占禁止懇話会への出席	0.07		
4	個人D	独占禁止懇話会への出席	0.07		
5	個人E	独占禁止懇話会への出席	0.07		
6	個人F	独占禁止懇話会への出席	0.07		
7	個人G	独占禁止懇話会への出席	0.07		
8	個人H	独占禁止懇話会への出席	0.07		
9	個人I	独占禁止懇話会への出席	0.07		
10	個人J	独占禁止懇話会への出席	0.07		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	扶桑速記印刷(株)	独占禁止懇話会に係る速記録の作成	0.16		
2	(株)オーキッド	飲料等の提供	0.02		
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					